

Microsoft Teams のカンタン連携活用術 & その先に起きる課題に今すぐ対策を！

中村 太一

AvePoint Japan 株式会社 / Microsoft MVP



ta1nakamura

Microsoft
Partner



Gold Application Development
Gold Collaboration and Content
Gold Cloud Productivity
Gold Messaging
Gold Datacenter

※本セッションの内容は 2022/10/14 時点での仕様に基づいております。

Collaborate with Confidence

Accessible content is available upon request.

AvePoint について

Microsoft 365 データ管理ソリューションのトップランナー



 AvePointは、米国ニュージャージーに本拠地を置いており、1,500 名の従業員が、5 大陸・14 カ国の 29 オフィスで業務に従事しています。日本では 2008 年からビジネスを展開しています。



900 万

クラウド ユーザー



88

カ国



7

大陸

Microsoft
Partner



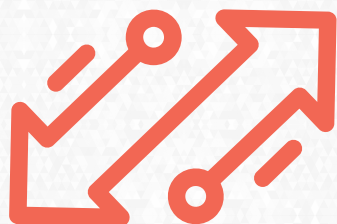
5x

Partner of the Year
Award Winner

AVPT
Nasdaq Listed



お客様のコラボレーションを支援



データ移行

オンプレミス



データ管理

ハイブリッド



データ保護

クラウド



AvePoint's solution on Cloud Journey

企業ニーズ

データ集約

- ✓ 様々なレガシー資産やシャドーITを集約し、コスト削減とセキュリティ強化

運用設計・データライフサイクル

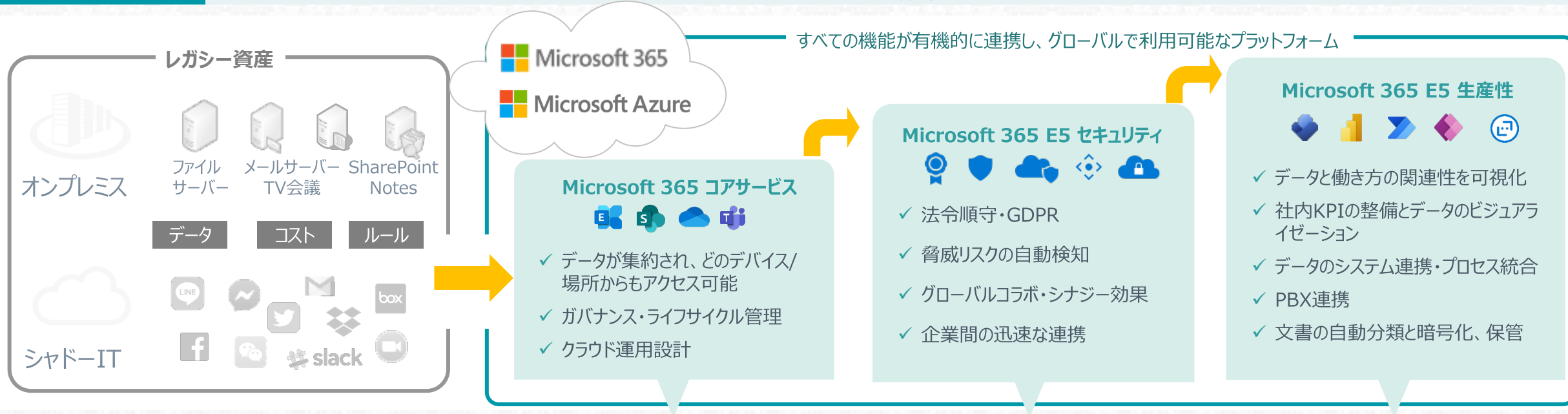
- ✓ 「グローバル・企業間コラボレーション」と「横断的な知の収集と活用」
- ✓ 利用者、利用用途拡大による運用負荷を軽減したい

コンプライアンス・GDPR

- ✓ 各国の法令、業界ガイドライン、社内コンプライアンス要件の順守
- ✓ 機密情報の保護
- ✓ 増え続けるデータへの対処

Digital Transformation

- ✓ システム連携やプロセス統合が加速し、Microsoft 365 ソリューションの価値を最大活用



AvePoint



移行計画/サービス

ガバナンス・組織改編対応自動化



コンプライアンス設計・実装



IA設計・チェンジマネジメント



マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 受賞

プレスリリース

2022年7月20日- AvePoint Japanが、「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー」を初受賞

～日本国内での日本マイクロソフトとのパートナーシップ、ならびに官公庁・製造業などの業務クラウド化促進に高評価～

最先端の SaaS およびデータ管理プラットフォームを提供する AvePoint, Inc. (本社：米国ニュージャージー州ジャージーシティ、NASDAQ: AVPT) の日本法人 AvePoint Japan株式会社 (本社：東京、代表取締役：塩光 誠、以下「AvePoint Japan」) は、2022年7月20日、日本マイクロソフト株式会社（以下、日本マイクロソフト）が主催する「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2022」にて、Global Independent Software Vendor (ISV) アワードを受賞しました。

Global Independent Software Vendor (ISV) アワードは、マイクロソフトとグローバル規模で深く連携することで顧客重視の方針と高い業績を見せたグローバル マネージド ISV に贈られるものです。AvePoint は、日本国外で Microsoft Partner of the Year Awards を過去に 5 回受賞しておりますが、今回は日本における活動が評価され、AvePoint Japan としては初めてのマイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー受賞となります。



2022 Partner of the Year Winner

Global Independent Software Vendor Award

<https://www.avepoint.com/jp/news/awards-microsoft-partner-of-the-year-2022>

©AvePoint, Inc. All rights reserved. Confidential and proprietary information of AvePoint, Inc.



Microsoft Teams とは？

Microsoft Teams は
今年5歳！



Microsoft Teams とは？



ビジネスチャット

オンライン会議

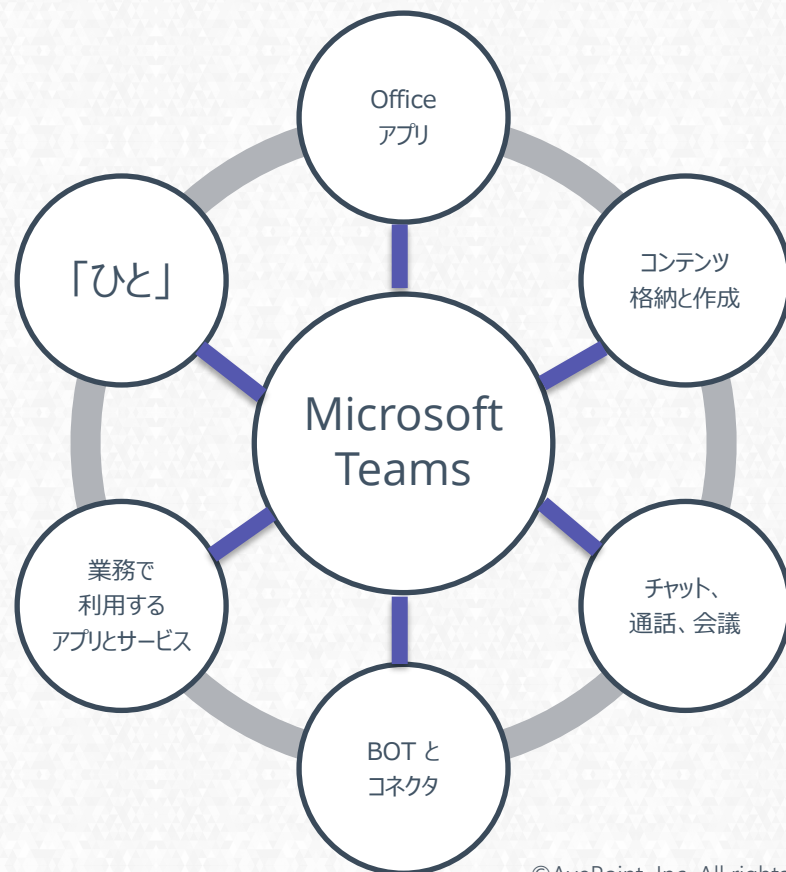
これだけでは
言葉足らずです



Microsoft Teams とは？



チームワークのハブ（中軸）



コミュニケーション: チームで業務を行う際に必須のチャット、通話、会議



コラボレーション: Office 365 アプリ各種との緊密な統合



カスタマイズと拡張: サードパーティアプリや既存システムとの統合



安心して業務を遂行: エンタープライズ級のセキュリティ、コンプライアンス、運用管理機能

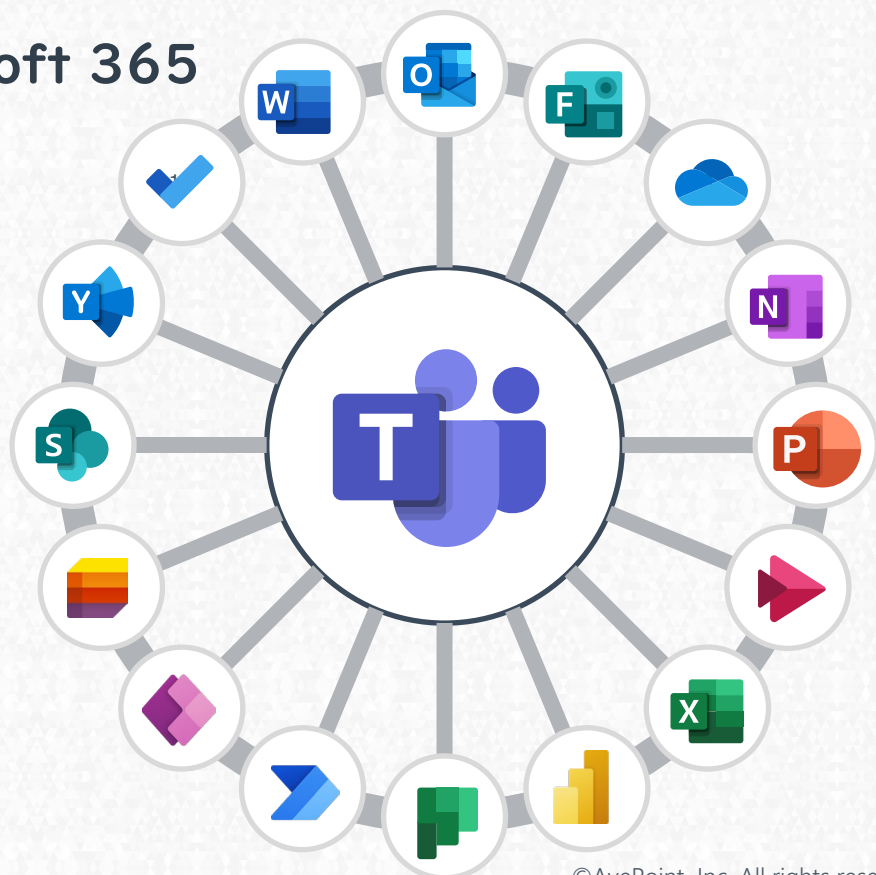


Microsoft Teams とは？



デジタルワークスペースの「ハブ（中軸）」

Microsoft 365



様々なサービスをコネクタで接続することにより、様々な業務を Microsoft Teams で完結させられます。



つまり Microsoft Teams をより活用するには？



様々なデジタルワークスペースと
連携してみよう！



「自分のタスク」を Microsoft Teams で集中管理



Microsoft 365 でタスク管理と言えば？



Microsoft Planner



Microsoft To Do



Microsoft 365 でタスク管理と言えば？



Microsoft Planner

チームのタスク管理



Microsoft To Do

個人のタスク管理



強いて挙げる使い分けのデメリット



チームのタスク管理



同じ「タスク」なの
に分かれてるから探
さなければいけない
...



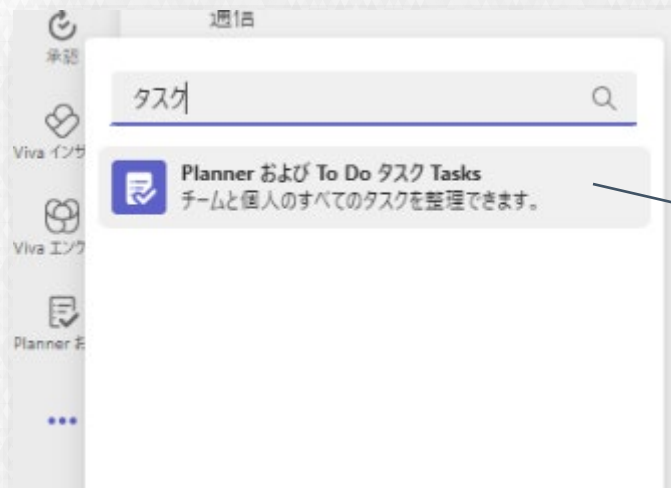
個人のタスク管理



行き来や探す時間の無駄
思考の分断



Microsoft Teams の「タスク」アプリ



Planner および To Do タスク Tasks

Microsoft Corporation

Tasks を使用すると、Planner と To Do のすべてのタスクを簡単に整理できます。タスクの作成、割り当て、追跡を個人またはチームで共同で行うことができ、すべてが 1 が所にまとめられます。



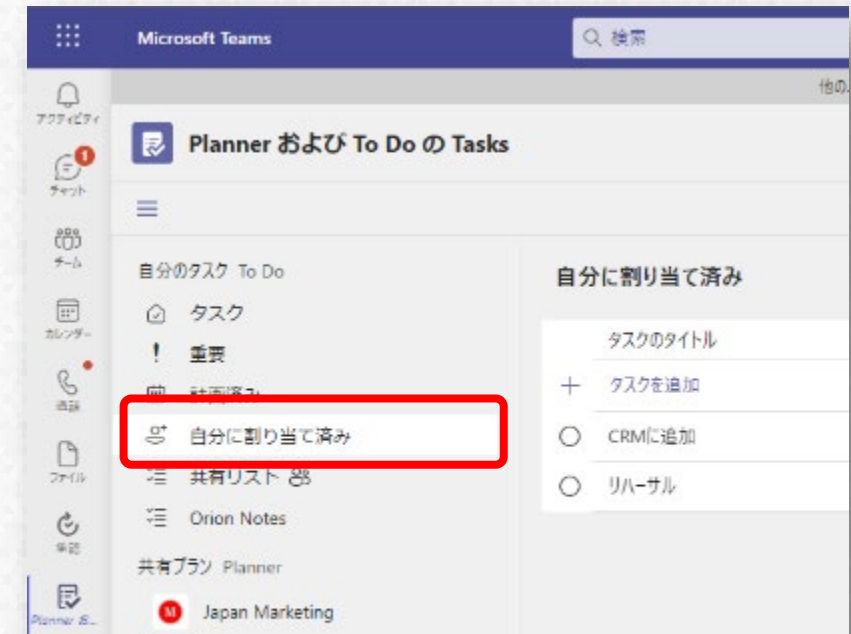
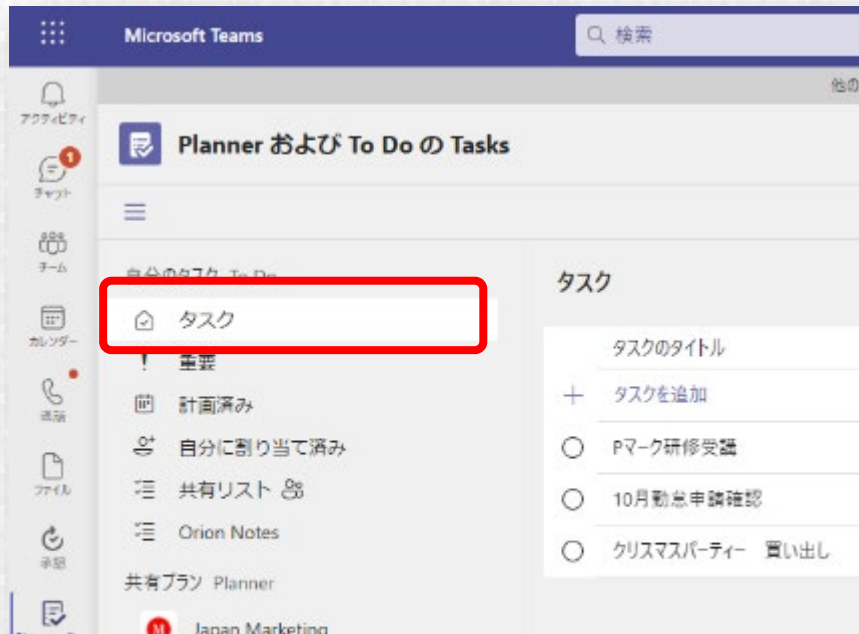
Microsoft Teams の「タスク」アプリ



アプリ内で2種類のタスクを利用できる



Microsoft Teams の「タスク」アプリ

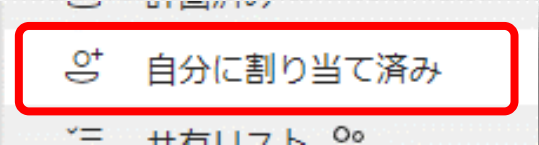


「自分のタスク」はこの2か所を見れば把握できる！ただし…



運用面で大事なポイント

タスクには必ず担当者を追加しよう



自分に割り当て済み

タスク担当者のココに表示される事が大事！



Viva インサイト アプリ バーチャル コミュート（仮想通勤） 機能



- 明日の会議スケジュールの確認
- **今日のタスクの確認**
- 一息つく（1分間の深呼吸）
- 1日を振り返り感情を記録

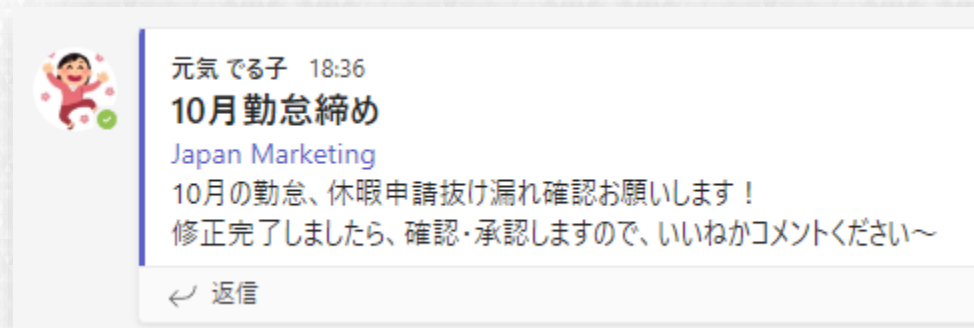


Microsoft Teams + Power Automate で ちょっと便利に



チームリーダーの（ありがちな）小さな課題

毎月月初になると、前月の勤怠管理システムの締め処理のために、Microsoft Teams にチームメンバーに勤怠申請の抜け漏れの確認を促すメッセージを手作業で行っている。



地味にダルいし、失念してしまう事もある。



課題解決の一步

中村太一が Power Automate でメッセージを自動送信させるフローを作っていたなあ。



何やら数分で作ったと言ってたぞ。

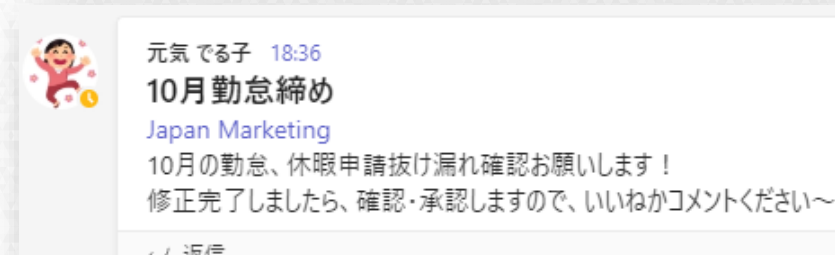
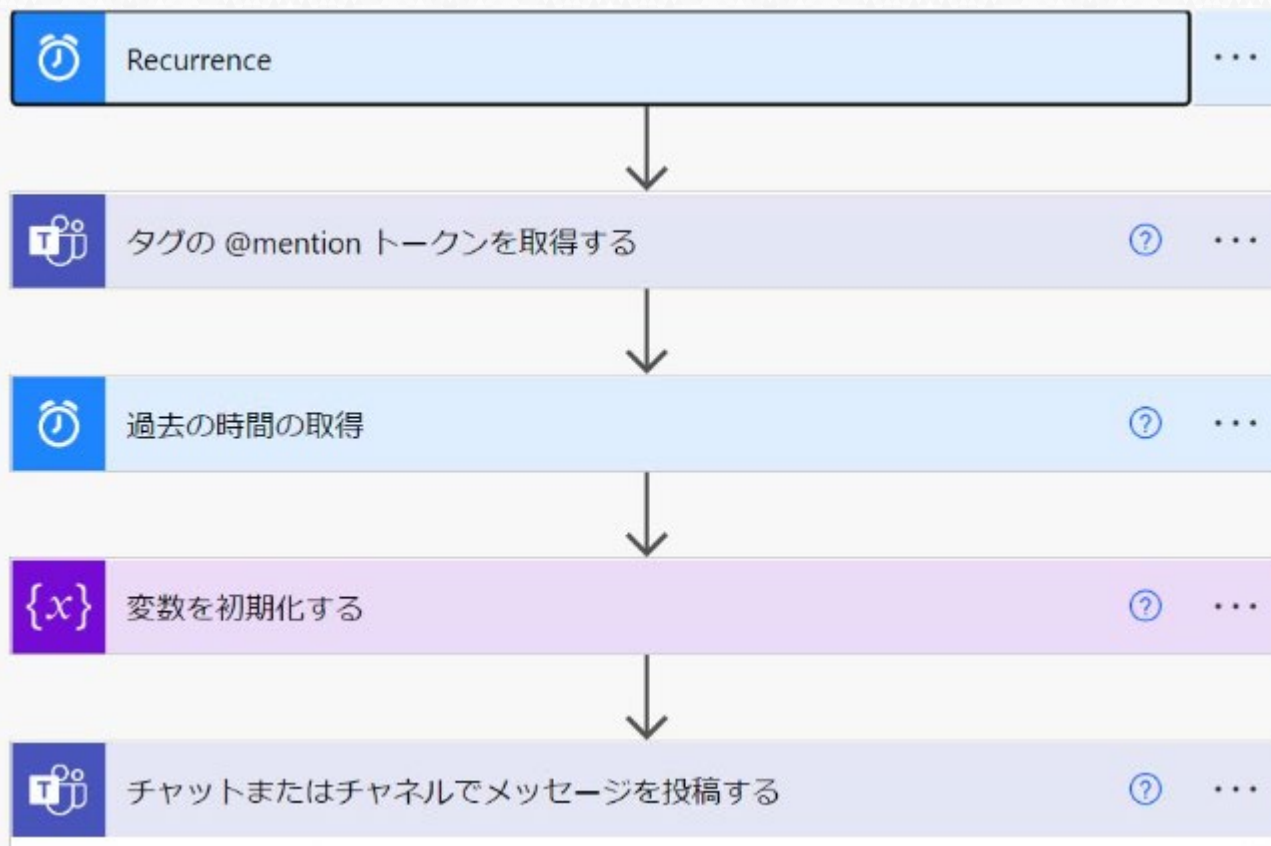


自分で挑戦してみようかな！

市民開発者の誕生の瞬間（自分で挑戦するマインド大事）



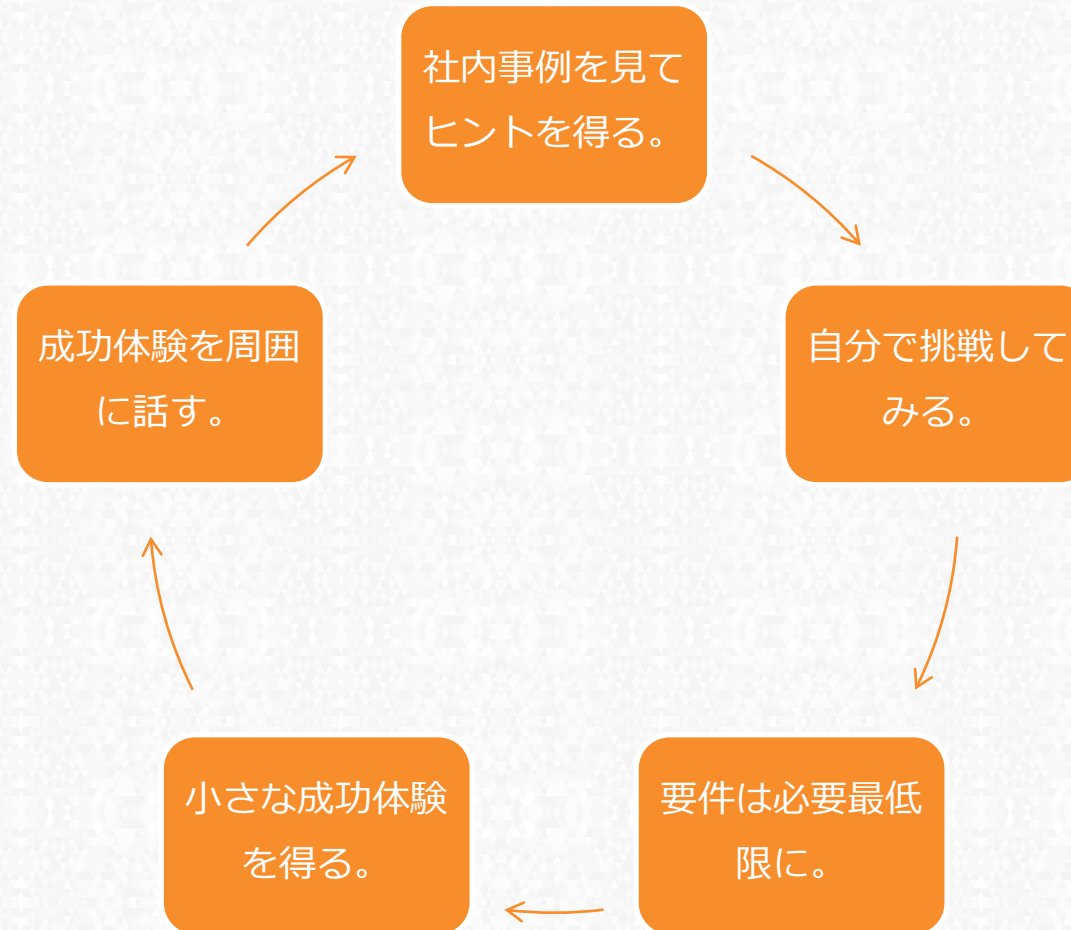
作ったフロー



自動で月初になるとタグメンション付きでメッセージが投稿される。



例に見る 利活用促進のための大事な循環

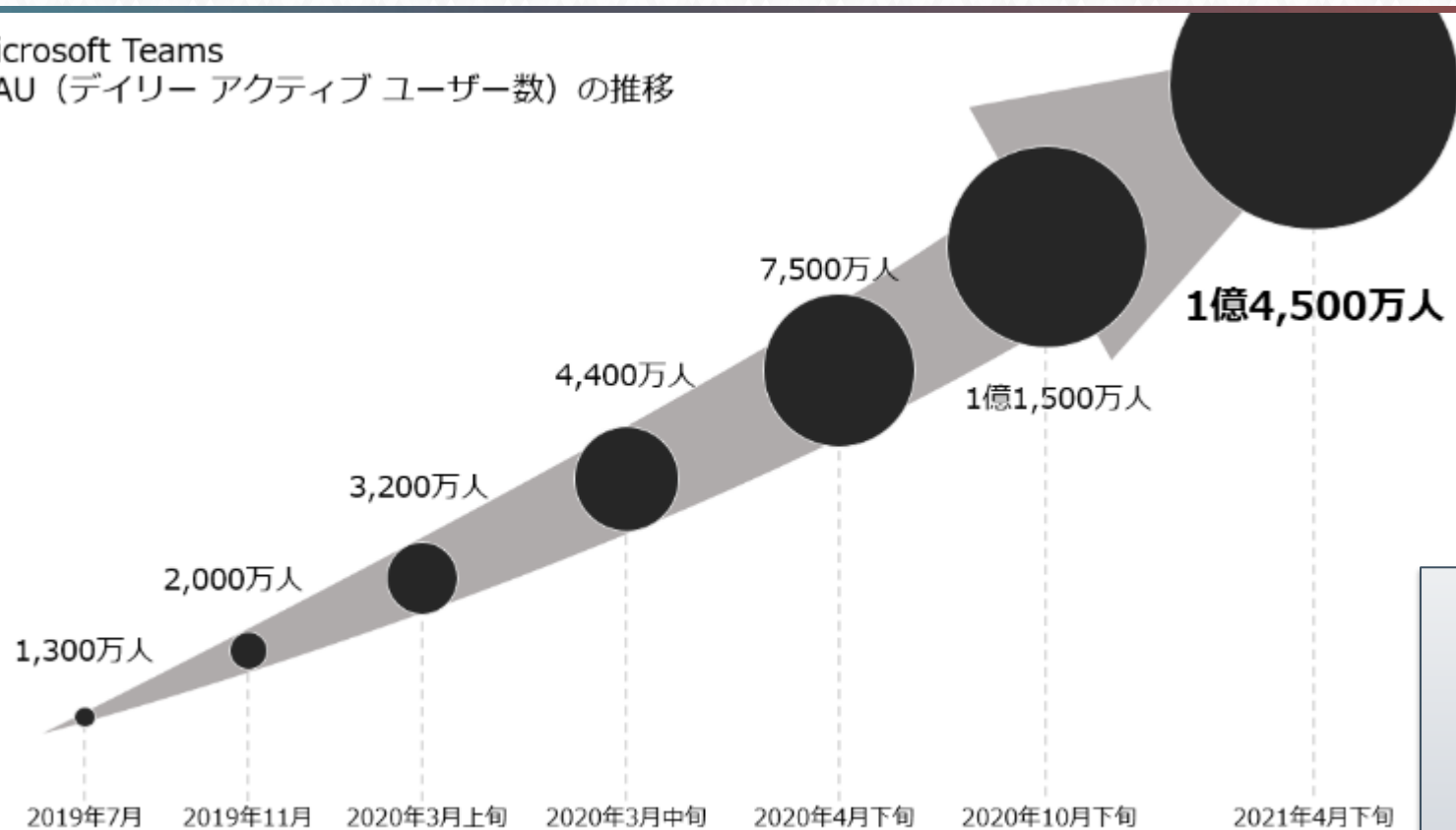


Microsoft Teams 3年目の壁



Microsoft Teams 運用 3 年目の壁

Microsoft Teams
DAU（デイリー アクティブ ユーザー数）の推移



Microsoft Teams 運用
3年目の壁

とりあえず導入。
導入定着・利活用促進が課題。

潜在的な運用課題が、見えないところで蓄積…。

運用課題
顕在化



データ保護



Microsoft 365 での「データ消失」の可能性

- ユーザーの操作ミスでのデータ消失
- データの保持期限切れでデータ消失
- 退職者のデータがあとから必要になった場合
- ランサムウェア



Microsoft 「クラウドにおける共同責任」

Responsibility		SaaS	PaaS	IaaS	On-prem
Responsibility always retained by the customer	Information and data	Customer	Customer	Customer	Customer
	Devices (Mobile and PCs)	Customer	Customer	Customer	Customer
	Accounts and identities	Customer	Customer	Customer	Customer
Responsibility varies by type	Identity and directory infrastructure	Shared	Shared	Customer	Customer
	Applications	Microsoft	Shared	Customer	Customer
	Network controls	Microsoft	Shared	Customer	Customer
	Operating system	Microsoft	Customer	Customer	Customer
Responsibility transfers to cloud provider	Physical hosts	Microsoft	Customer	Customer	Customer
	Physical network	Microsoft	Customer	Customer	Customer
	Physical datacenter	Microsoft	Customer	Customer	Customer

■ Microsoft ■ Customer ■ Shared

【参照・引用】

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/security/fundamentals/shared-responsibility>



データ保護計画 について

データロスの可能性/ リストアが必要なタイミング

- ✓ ユーザーの誤操作
- ✓ 管理者の誤操作・システムの不具合
- ✓ 悪質なソフトウェアからの被害
- ✓ コンプライアンス対応・法令対応

Microsoft のデータ保護範囲

- ✓ 短期間以内で発生したユーザー誤操作
- ✓ 短期間以内で管理者の誤操作により削除されたメールボックスやグループの復元
- ✓ ハードウェアやインフラの故障によるサービス停止
- ✓ 自然災害やデータセンターの故障によるサービス停止

データ保護計画

- ✓ 定期的にデータ無制限で保存
- ✓ 必要な分だけ、リストア実施
- ✓ バックアップ状況を簡単に確認



自動車の運転に例える



自動車

(安全支援装置)

Microsoft 365
(各種セキュリティ機能)



教習所

ユーザー教育



保険

バックアップ

どれも安全運転には欠かせません！



クラウドのデータ保護はユーザー責任 !



シナリオ

➤ ランサムウェア対策

感染してしまった時に、データの復旧が必要

✓ 感染前の状態にリストア

➤ 誤操作によるデータロス

必要なファイルのみをリストアしたい

✓ 最小単位のアイテムを選択してリストア

➤ 法令順守のためのデータ保護対応

有事に備え、データ保護対策がしたい

✓ Microsoft 365 を包括的にバックアップ

どんなプロダクト？

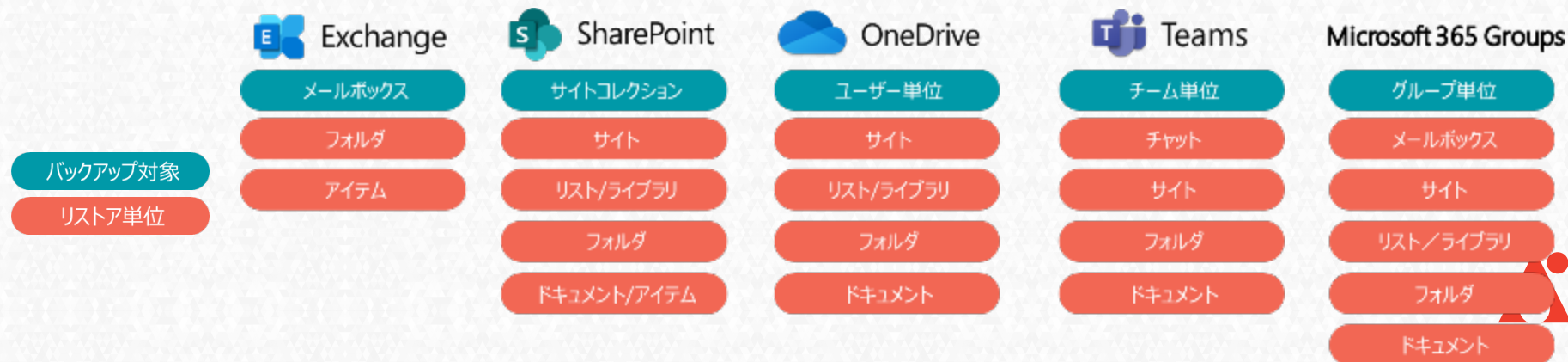
Microsoft 365の
包括的な範囲を
バックアップとリストアが
できるSaaSツール

情報セキュリティ10大脅威 2022

順位	組織
1位	ランサムウェアによる被害
2位	標的型攻撃による機密情報の窃取
3位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃

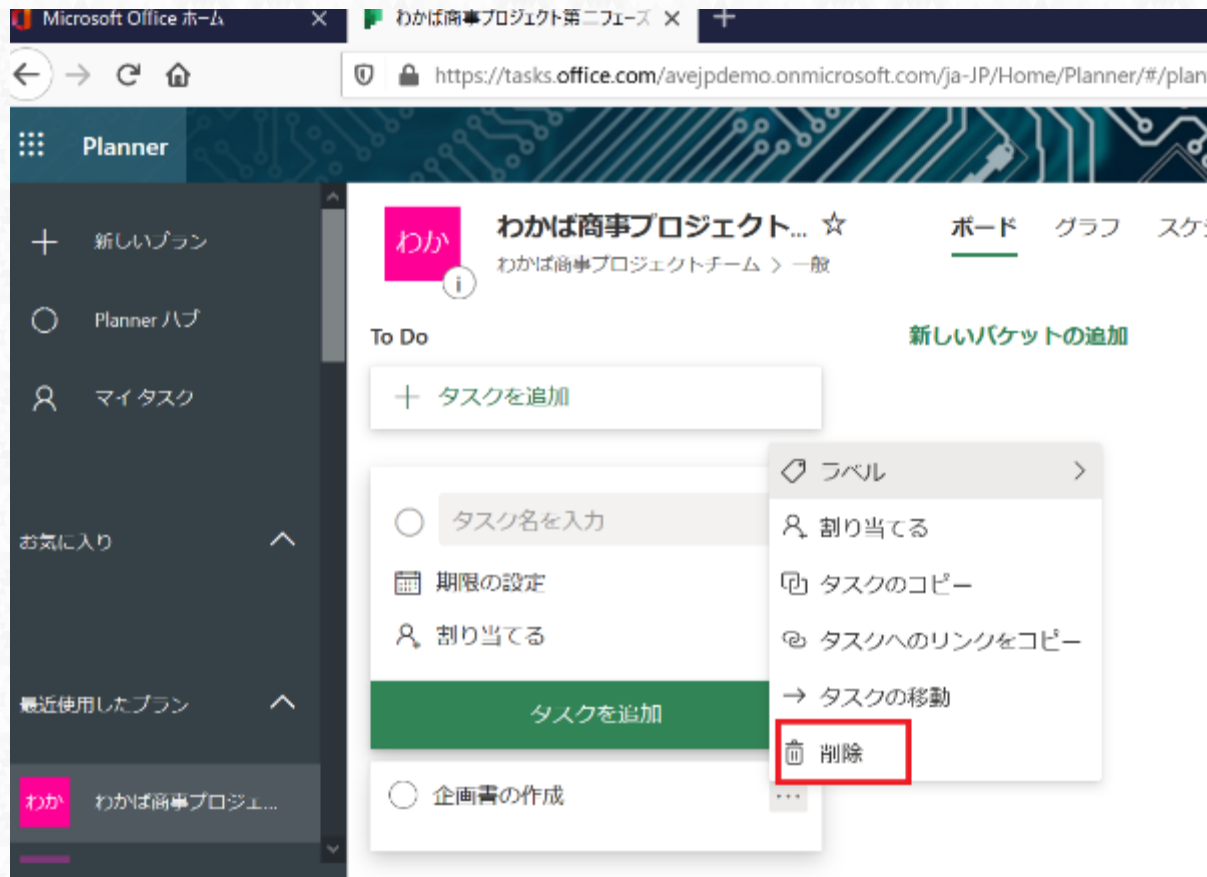
出典：情報セキュリティ10大脅威 2022：
IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

バックアップとリストアの単位



Planner のタスクも AvePoint Cloud Backup ならリストア可能

Planner のごみ箱は…ありません…



タスク削除から 数秒 であれば、
ここから復元は可能…

タスクを削除しました - 企画書の作成 元に戻す ×



AvePoint Cloud Backup 気になった方は！



BREAKOUT SESSION ブレイクアウトセッション

知らないでは済まされない！クラウド上のデータ保管にバックアップが必須な理由

ISO27002に追加された新たな規格に、クラウドサービス利用時のバックアップの必要性が明記されました。ファイルサーバー利用時は、必ず取っていたバックアップですが、クラウド上にデータを移行した後はバックアップを導入していないという企業様が多くいらっしゃいます。なんとなくバックアップを取っていないという情報システム部担当者様も居れば、バックアップ不要と考えているご担当者様もいらっしゃいますが、本当にバックアップを真剣に検討いただかなくても良いのでしょうか。本セッションでは、そもそも何故バックアップを取る必要があるのか、そしてそのバックアップを取る責任は誰にあるのかという事を情報システム部の皆様へお伝えいたします。



小澤 正弘 氏

AvePoint Japan 株式会社
パートナーアカウントマネージャー

2020年 AvePoint Japan 入社。パートナーアカウントマネージャーとして、SMC / SMB 層のお客様を多く抱えるパートナー様に対し、ニーズのヒヤリング・整理、パートナー向け勉強会等を多く実施している。



チームやチャネルを再編したい！





Microsoft Teams を使い始めの頃



開発部チーム



- とりあえず
組織ごとにチームを作ってみよう！
- とりあえず
プロジェクトごとにチャネルを作ってみよう！





Microsoft Teams を使い慣れた頃



開発部チーム



- プロジェクトごとのコミュニケーションが複雑になってきた！
- プロジェクト内でチャネル分けしたくなってきた！





チームとチャネルを再編したい！

開発部チーム



プロジェクトAチーム



プロジェクトBチーム



すでに利活用が進み、多くの会話やファイルのデータがチャネルごとにあるので、データごと移動したい！



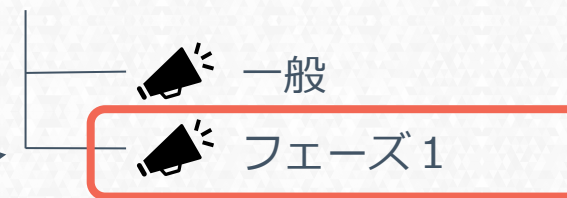


チームとチャネルを再編したい！

開発部チーム



プロジェクトAチーム



プロジェクトBチーム



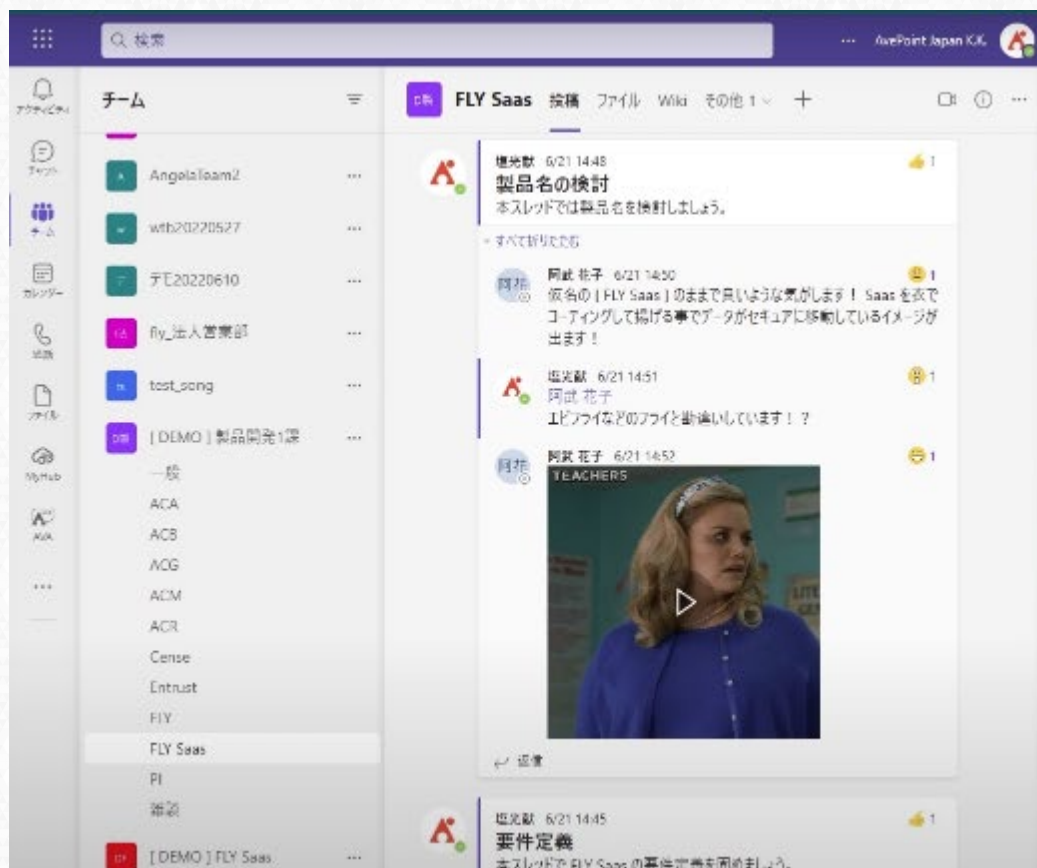
Microsoft Teams の標準機能では、
チーム間のチャネル移行ができない！



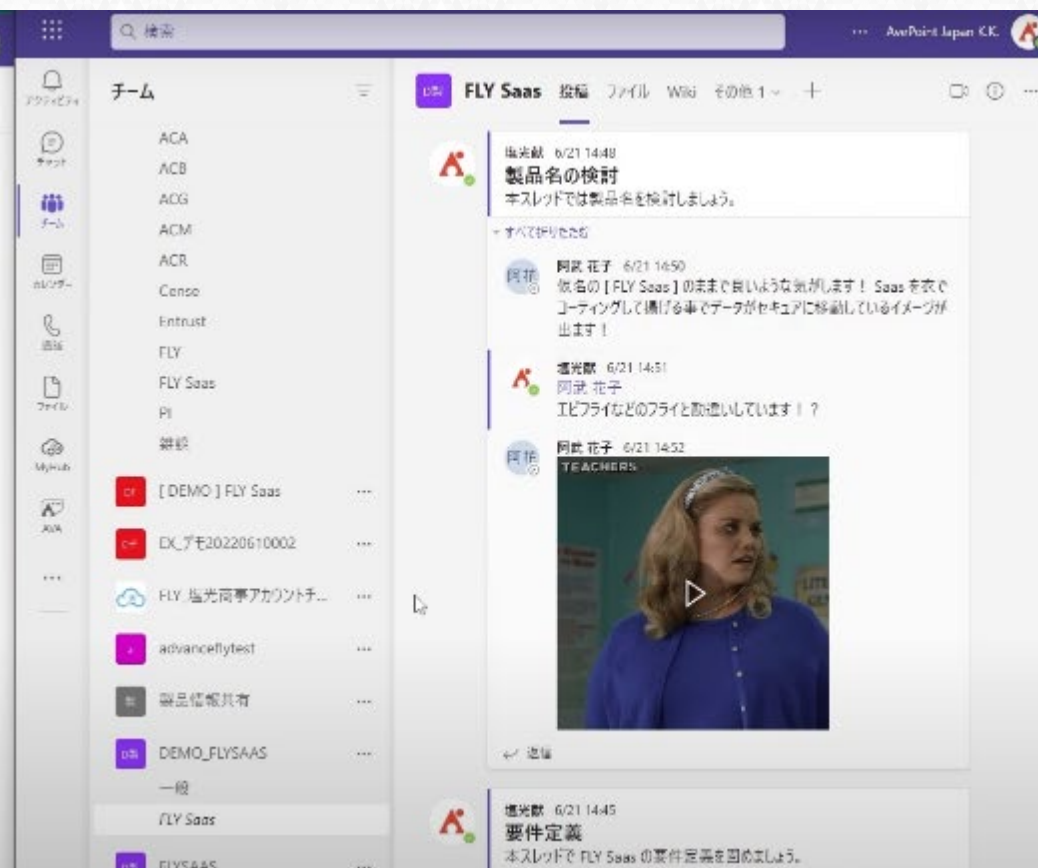


チャネルの会話 移行元と移行先

移行元



移行先





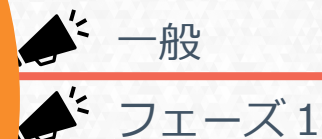
チームとチャネルを再編したい！



開発部チーム



プロジェクトAチーム



プロジェクトBチーム



AvePoint の FLY なら可能です！



Microsoft 365へ移行はお任せ !



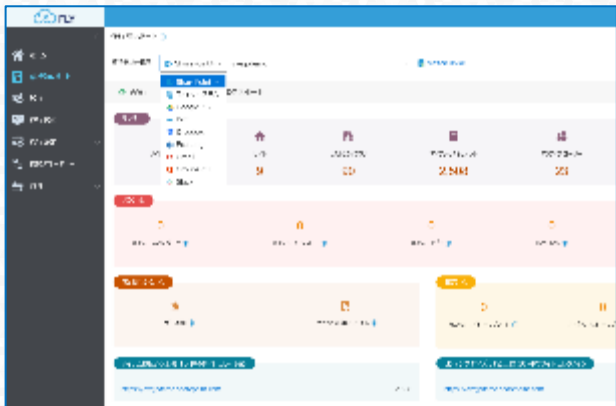
シナリオ

➤ オンプレ環境を廃止して、クラウドへ移行 SPOをファイルサーバーとして利用したい	 SharePoint とファイル移行
➤ M&A / 分社化で複数テナント存在 テナントを1つにまとめたい	 Office 365テナント間の移行
➤ Google と M365どちらも利用している M365に統一するため、Gmailを移行したい	 メールボックス 移行
➤ Slackを利用していたが、M365を新規契約 Teamsをメインで利用がしたい	 Slack 移行

どんなプロダクト？

Microsoft 365へ
様々なサービスから
セキュアな環境で
移行が実現できるツール

見やすいアプリ画面



移行前～移行後までFLYは機能対応

移行前



移行前の環境スキャン

- ✓ 移行元の詳細を把握、移行計画を立案

移行のトラブルを未然に防止

移行中



移行

- ✓ スケジュール設定で移行タスクを自動化
- ✓ アクセス権やメタデータなどを移行先に反映

影響を最小限に

移行後



モニタリング

- ✓ 進行状況レポートでプロジェクトを見える化
- ✓ 自動通知機能で移行ジョブ確認

移行漏れ防止

AvePoint FLY 気になった方は！



BREAKOUT SESSION ブレイクアウトセッション

ファイルサーバーをクラウドに移行するために考えるべきことは？

DX や働き方改革が多くの企業で推進され、業務効率化の手段としてクラウド サービスの導入が進みました。とはいえ、いまだファイルサーバーに大量のデータが存在している・・・という企業は多いはず。本ウェビナーでは、セキュリティ・コスト・働き方改革といった理由でファイルサーバーから SharePoint へのデータ移行を検討している企業さまに向けて、現場視点の課題とその解決策をお話いたします。



小澤 正弘 氏

AvePoint Japan 株式会社
パートナーアカウントマネージャー

2020年 AvePoint Japan 入社。パートナーアカウントマネージャーとして、SMC / SMB 層のお客様を多く抱えるパートナー様に対し、ニーズのヒヤリング・整理、パートナー向け勉強会等を多く実施している。



まとめ



まとめ

- Microsoft Teams はチームワークのハブ
- 更なる利活用には「連携」が大事
- Teams アプリの追加だけでカンタンに連携できる
- 積極的に挑戦してみる事で更に可能性が広がる
- 利活用定着の先に必ず立ちはだかる運用課題
- AvePoint にご相談ください



オススのセッション



BREAKOUT SESSION ブレイクアウトセッション

知らないでは済まされない！クラウド上のデータ保管にバックアップが必須な理由

ISO27002に追加された新たな規格に、クラウドサービス利用時のバックアップの必要性が明記されました。ファイルサーバー利用時は、必ず取っていたバックアップですが、クラウド上にデータを移行した後はバックアップを導入していないという企業様が多くいらっしゃいます。なんとなくバックアップを取っていないという情報システム部担当営業も居れば、バックアップ不要と考えているご担当営業もいらっしゃいますが、本当にバックアップを直ちに検討いただかなくても良いのでしょうか。本セッションでは、そもそも何故バックアップを取る必要があるのか、そしてそのバックアップを取る責任は誰にあるのかという事を情報システム部の皆様へお伝えいたします。



小澤 正弘 氏

AvePoint Japan 株式会社
パートナーアカウントマネージャー

2020年 AvePoint Japan 入社。パートナーアカウントマネージャーとして、SMC / SMB 層のお客様を多く抱えるパートナー様に対し、ニーズのヒヤリング・整理、パートナー向け勉強会等を多く実施している。



BREAKOUT SESSION ブレイクアウトセッション

ファイルサーバーをクラウドに移行するために考えるべきことは？

DX や働き方改革が多くの企業で推進され、業務効率化の手段としてクラウド サービスの導入が進みました。とはいえ、いまだファイルサーバーに大量のデータが存在している・・・という企業は多いはず。本ウェビナーでは、セキュリティ・コスト・働き方改革といった理由でファイルサーバーから SharePoint へのデータ移行を検討している企業さまに向けて、現場視点の課題とその解決策をお話いたします。



小澤 正弘 氏

AvePoint Japan 株式会社
パートナーアカウントマネージャー

2020年 AvePoint Japan 入社。パートナーアカウントマネージャーとして、SMC / SMB 層のお客様を多く抱えるパートナー様に対し、ニーズのヒヤリング・整理、パートナー向け勉強会等を多く実施している。



*thank
you*



SalesJP@avepoint.com | 03-6853-6300



www.avepoint.com/jp



[in](#) [twitter](#) [youtube](#) [facebook](#)